

# 平成27年度情報公開

学校法人 京都西山学園

京都西山短期大学

## 1. 教育研究上の基礎的な情報

### (1) 学科・専攻の名称及び教育研究上の目的

#### 仏教学科

##### ◆仏教学専攻

それぞれ特色を持った3つのコースを有する仏教学専攻。ライフクリエイトコースでは、自分の将来を描き、そのために必要な具体的な知識や技術をひとつひとつ身に付け、自分らしい生き方を実現していくことを目的に各種資格取得を目指します。また、仏教コースでは西山各派の教師資格が取得可能です。国際経営(教育)コースでは、外国人留学生を対象に、日本語教育の他、広く国際社会で活躍できる基礎力を身につけます。

##### <ライフクリエイトコース>

2010年にスタートした本コースは、大学で将来の夢をみつけない人におすすめのコースです。将来どんな道に進んでも役立つ、コミュニケーション能力やマナーといった「おもてなし力」を身につける。本学の建学の精神である仏教精神に基づいた「おもいやりの心」を育むことを基本として、秘書技能検定2級・3級、サービス接遇検定2級・3級、日商簿記検定2級・3級、マイクロソフトオフィススペシャリスト(Word・Excel)、医科医療事務検定2級・3級、調剤事務検定、ビジネス会計検定3級などの資格取得を目指します。あらゆる場面でいきいきと活動できる人物へと成長してください。

##### <国際経営(教育)コース>

外国人留学生に特化した本コースでは、これまで国際教育コースとしてきたが、27年度から国際経営コースを新設した。レベル別にクラス分けした徹底した日本語教育を中心とするとともに、京都に位置する地の利を活かした日本文化に関する専門科目をはじめ、異文化コミュニケーション、国際経済など国際社会で活躍するための基礎力を身につけることを目指してきた国際教育コースに対して、経営学、経済学関係科目を新設し、国際経営コースとして新たにスタートした。

##### <仏教コース>

～西山上人の教えを中心に幅広く仏教を学ぶ。～

浄土宗の開祖である法然上人と、西山上人の教えに焦点をあてるとともに、彼らに影響を与えた中国の浄土教各祖師たちの教学についても、著作の講読を通じて教義への理解を深めます。

～西山各派の宗門教師資格が取得できる。～

西山浄土宗・浄土宗西山深草派・浄土宗西山禅林寺派の宗門教師資格が取得可能です。法式や布教などの実践的な授業を通して、僧侶として必要な技術や心構えを身につけていきます。

##### ◆仏教保育専攻

##### <保育幼児教育コース>

保育士養成を目的に2006年にスタートし、9年目を迎えています。男女共学、充実した設備、優れた教員陣などがその特徴。充実した修学環境のなかで、未来の保育士をめざして大いに学んでいます。

2009年からは保育士に加え、幼稚園2種免許が付与できる教育課程となり、将来の進路の幅がさらに広がりました。

(2)専任教員数

学 科	専 攻	教 授	准教授	講 師	小 計	合 計
仏教学科	仏教学	3	0	4	7	14名
	仏教保育	2	1	4	7	

(3)校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

[キャンパス紹介 | 京都西山短期大学](#)

キャンパスまでのアクセス [本学までのアクセス](#)

(4)授業料、入学料その他の大学が徴収する費用

仏教学専攻		仏教保育専攻	
入学金	200,000円	入学金	200,000円
授業料	760,000円 (年額)	授業料	760,000円 (年額)
施設設備費	200,000円 (年額)	施設設備費	300,000円 (年額)
学友会費	5,000円 (年額)	学友会費	5,000円 (年額)
保護者会費	10,000円 (年額)	保護者会費	10,000円 (年額)
初年度合計	1,175,000円	初年度合計	1,275,000円
但し、下記の通り分納することができます。		但し、下記の通り分納することができます。	
入学金	200,000円	入学金	200,000円
授業料	380,000円 (春学期)	授業料	380,000円 (春学期)
施設設備費	100,000円 (春学期)	施設設備費	150,000円 (春学期)
学友会費	5,000円 (年額)	学友会費	5,000円 (年額)
保護者会費	10,000円 (年額)	保護者会費	10,000円 (年額)
初年度春合計	695,000円	初年度春合計	745,000円
(秋学期分480,000円は10月に分納していただきます。)		(秋学期分530,000円は10月に分納していただきます。)	

※仏教保育専攻の場合は、保育・教育実習等にかかわる費用が別途必要となります。

※社会人入試での入学の場合は授業料の減免があります。

※外国人留学生につきましては、授業料減免の制度があります。詳しくは国際交流センターまでお問い合わせ下さい。

※学納金は一括納入を原則とします

## 2. 修学上の情報

### (1) 入学者に関する受入方針

仏教学専攻	<input type="checkbox"/> 西山浄土宗教師（僧侶）を目指す人 <input type="checkbox"/> 広く仏教を学びたい人 <input type="checkbox"/> 福祉の仕事に就いてみたい人 <input type="checkbox"/> 医療事務などの資格を身につけたい人 <input type="checkbox"/> 国際文化を学ぶ留学生
仏教保育専攻	<input type="checkbox"/> 子どもに対する十分な愛情を持っている人。 <input type="checkbox"/> 保育士資格を取りたい人、保育士になりたい人 <input type="checkbox"/> 幼稚園教諭2種免許状を取りたい人

### (2) 教員組織等の状況

専任教員の学位、業績

[教員紹介 | 京都西山短期大学](#)

専任教員数(職種・年齢・性別)

	～29			30～39			40～49			50～59			60～69			70代以上			計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	3	0	0	0	5
准教授	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
講師	0	0	0	2	1	3	1	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
計	0	0	0	2	1	3	1	5	6	2	0	2	3	0	3	0	0	0	14

専任教員と非常勤教員の比率

	専任教員				非常勤 講師	占有率(%)	
	教授	准教授	講師	計		専任	非常勤
仏教学科	5	1	8	14	37	27.5	72.5

教員一人当たりの学生数及び収容定員充足率

	専任教員				学生	教員一人当たり の学生数	収容定員 充足率
	教授	准教授	講師	計			
仏教学科	5	1	8	14	170	12.1	85.0%

### (3) 入学者数、収容人数、在学者数、卒業、(修了)者数、進学者数、就職者数

	入学者数 (平成 27 年度)	収容定員	在学者数 (平成 27 年度)	卒業者数 (平成 26 年度)	進学者数 (平成26年度)	就職希望者数 (平成26年度)	就職者数 (平成26年度)
仏教学専攻	52	100	108	35	17	9	8
仏教保育専攻	34	100	62	29	6	21	20
計	86	200	170	64	23	30	28

#### 過去3年間の入学者数推移

仏教学科	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
仏教学専攻	64	57	52
仏教保育専攻	38	25	34
計	102	82	86
内 社会人学生	4	4	9
内 留学生	44	43	32

#### 平成 26 年度退学・除籍者数、中退率及び留年者数

退学・除籍	中退率	留年者
13	7.3%	2

### (4) 学修の成果に係る評価

成績評価は、各科目に定められている単位数に相当する学修成果の有無やその内容を評価するために行われます。100点満点法で評価され、60点以上の評価が得られた場合にのみ所定の単位が認定されます。

#### (ア) 成績評価の方法

成績評価は、次の4種類の方法を基本として、これらの中、1つまたは2つ以上を合わせた評価がなされます。基本的に各科目の成績評価の方法は、その科目の授業担当者に委ねられています。なお、評価方法等、具体的内容についてはシラバスに明示されています。

1. 筆記試験による評価
2. レポート試験による評価
3. 実技試験による評価
4. 授業での取組状況や平常テストなど上記試験による評価とは別に、授業担当者が独自に設定する方法による評価

#### (イ) 成績評価の基準

成績評価は、100点を満点とし60点以上を合格、それに満たない場合は不合格とします。一度合格点を得た科目(=既得科目)を再度履修し改めて成績評価を受けることはできません。履修登録した科目の試験を受験しなかった場合、その試験の評価はK表記となります。ただし、このような場合でも、授業担当者が定めた評価方法により試験の評価以外により評価される場合があります。

段階評価と評点の関係は、次のとおりとします。

優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)

学業成績証明書は、すべて段階評価で表示し、不合格科目は表示しません。

学業成績表は、春学期(前期)分を8月下旬、秋学期(後期)分を2月下旬に配付します。

#### (ウ)必修・選択科目別取得必要単位数及び取得可能学位

仏教学科仏教学専攻、仏教保育専攻とも専門基礎科目6単位(必修)、専門教育科目(選択)より14単位以上及び基礎科目(選択)より10単位以上を含み、総計62単位以上を2か年にわたって取得した者は、短期大学士を得ることが出来ます。

なお、保育士資格を得ようとする者は、児童福祉法施行規則第6条の2第1項の「指定保育士養成施設指定基準」に定める所定の単位の修得が、また、幼稚園教諭二種免許を得ようとする者は、学校教育法第69条の2第7項に定める短期大学士の称号を有し、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に定める所定の単位を修得しなければなりません。

### (5)学生の修学、進路選択及び心身の健康等に関する支援

#### 就職支援

学生支援センターが中心となり、教学部、各専攻との緊密な連携を通じて、学生支援活動を展開しています。生き方の哲学体系でもある[仏教]を建学の精神とする本学では、「働く意義は何か?」という根源的な問いに照らし、学生それぞれの動機付けを明確化させ、学生のキャリア形成を支援しています。

本学における教育活動と一体のものとして、入学から卒業に至るまで、様々な形での学生支援を位置づけ、進路調査アンケート、全学生の面談、就職ガイダンス、就職マナー講座、先輩留学生を招いての留学生就職ガイダンス等を実施し、2年生時においては、総合演習・総合ゼミナールという演習形式の授業の中で就職指導等を行っています。

近年の就職実績 [最近の就職先](#)

#### 進学支援

本学では、短期大学の課程に続き、学生の資質を伸長し、進路開拓の可能性をもたせるため、大学進学を積極的に推進しています。学生個別のガイダンスを通じて、指定校推薦の出願方法や、受験対策を行っています。

外国人留学生に対しては、日本語文章指導などの学習支援を充実させる一方で、全学生に対して情報処理実習や学生相談室、図書館で実施している学生サポート活動を協同して行うことが必要との観点にたつと共に、ゼミ担当教員とも協同しながら、学生一人ひとりに応じた学生指導を行っています。

近年の編入実績 [最近の編入先](#)

#### キャリア形成支援

基本的にキャリア形成支援は、正課授業の中で行われる専門知識をもった職業人養成という点にとどまらず、学生支援センターや学生相談室におけるカウンセリングなど、対話を通じた自己を振り返り・就活プランの立案・就職活動など、学生生活全体に関わるものであると考えています。

また、学生の自己肯定感を高め、コミュニケーション能力を高めるため、教職員が一体となり学生のキャリア形成に取り組む必要があるとも考えています。

短期大学では学生への教育とともに、学生生活に対する幅広い支援が求められています。

「学生支援は、学生の本務である学習の活性化を促すと同時に、個性豊かな人間性を涵養する上で不可欠なものであり、入学前から卒業にいたる全てのプロセスにおいて適切な措置が講じられなければならない。」このような観点から、学習支援センターを中心に (1)学生のキャリア形成支援、(2)生活・学習両面にわたる支援、(3)大学編入に焦点をあてた日本語教育、(4)進学・就職にかかわる情報提供と面接を通じたガイダンス等に取り組んでいます。

## 学生相談

学生相談室を中心に、専任教員が担当するゼミと学生相談室が連携し学生の相談に応じることにしています。中でも問題を抱えている学生については、相談室の臨床心理士が相談業務を実施しています。

## (6)講義内容

平成27年度 開講科目とその内容

[平成27年度シラバス](#)

### 3. 学校法人京都西山学園 財務情報

#### 財 産 目 録

<b>I 資産総額</b>	4, 489, 106, 962	円
内 基本財産	4, 008, 295, 751	円
運用財産	480, 811, 211	円
<b>II 負債総額</b>	496, 005, 244	円
<b>III 正味財産</b>	3, 993, 101, 718	円

区 分			金 額
資産額			
1 基本財産			
土地	40,641	m <sup>2</sup>	1,496,796,285 円
建物	22,728	m <sup>2</sup>	2,162,587,152 円
図書	74,210	冊	207,023,189 円
教具・校具・備品			44,461,949 円
その他			97,427,176 円
2 運用財産			
現金預金			384,343,536 円
その他			96,467,675 円
資 産 総 額			4,489,106,962 円
負債額			
1 固定負債			
長期借入金			178,920,000 円
その他			52,553,560 円
2 流動負債			
短期借入金			38,996,000 円
その他			225,535,684 円
負 債 総 額			496,005,244 円
正味財産（資産総額－負債総額）			3,993,101,718 円

# 貸借対照表

平成27年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,017,760,593	4,086,018,875	△68,258,282
有形固定資産	4,008,295,751	4,077,075,243	△68,779,492
土地	1,496,796,285	1,496,796,285	0
建物	2,162,587,152	2,213,800,947	△51,213,795
その他の有形固定資産	348,912,314	366,478,011	△17,565,697
その他の固定資産	9,464,842	8,943,632	521,210
流動資産	471,346,369	391,297,731	80,048,638
現金預金	384,343,536	237,674,774	146,668,762
その他の流動資産	87,002,833	153,622,957	△66,620,124
資産の部合計	4,489,106,962	4,477,316,606	11,790,356

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	231,473,560	291,855,622	△60,382,062
長期借入金	178,920,000	240,316,000	△61,396,000
その他の固定負債	52,553,560	51,539,622	1,014,062
流動負債	312,735,121	312,735,121	△48,203,437
短期借入金	38,996,000	43,796,000	△4,800,000
その他の流動負債	225,535,684	268,939,121	△43,403,437
負債の部合計	496,005,244	604,590,743	△108,585,499

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	6,741,475,866	6,667,847,378	73,628,488
第2号基本金			
第3号基本金			
第4号基本金	107,000,000	107,000,000	0
基本金の部合計	6,848,475,866	6,774,847,378	73,628,488

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
年度消費支出準備金			
翌年度繰越消費支出超過額	△2,855,374,148	△2,902,121,515	46,747,367
消費収支差額の部合計	△2,855,374,148	△2,902,121,515	46,747,367
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,489,106,962	4,477,316,606	11,790,356



## 資金収支計算書

平成26年 4月 1日から

平成27年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	932,836,000	934,713,198	△1,877,198
手数料収入	17,096,000	16,570,998	525,002
寄付金収入	10,760,000	10,738,210	21,790
補助金収入	630,283,000	657,524,298	△27,241,298
国庫補助金収入	64,748,000	64,748,000	0
地方公共団体補助金収入	565,535,000	592,776,298	△27,241,298
その他補助金収入			0
資産運用収入	14,817,000	14,966,021	△149,021
資産売却収入	0	0	0
事業収入	29,020,000	27,011,300	2,008,700
雑収入	14,525,000	14,880,715	△355,715
借入金等収入	30,000,000	30,000,000	0
前受金収入	125,220,000	146,008,598	△20,788,598
その他の収入	140,203,000	138,806,458	1,396,542
資金収入調整勘定	△168,230,000	△193,521,764	25,291,764
前年度繰越支払資金	237,674,000	237,674,774	
収入の部合計	2,014,204,774	2,035,372,806	△21,168,032
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	868,927,000	851,478,810	17,448,190
教育研究経費支出	504,385,000	494,821,366	9,563,634
管理経費支出	90,809,000	76,555,725	14,253,275
借入金等利息支出	4,800,000	4,365,415	434,585
借入金等返済支出	96,196,000	96,196,000	0
施設関係支出	40,050,000	37,239,114	2,810,886
設備関係支出	17,070,000	13,895,716	3,174,284
その他の支出	108,162,460	102,152,347	6,010,113
資金支出調整勘定	△20,097,000	△26,179,223	6,082,223
次年度繰越支払資金	303,392,314	384,343,536	△80,951,222
支出の部合計	2,014,204,774	2,035,372,806	△21,168,032

## 消費収支計算書

平成26年 4月 1日から

平成27年 3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金	932,836,000	934,713,198	△1,877,198
手数料	17,096,000	16,570,998	525,002
寄付金	10,962,000	11,267,347	△305,347
補助金	630,283,000	657,524,298	△27,241,298
国庫補助金	64,748,000	64,748,000	0
地方公共団体補助金	565,535,000	592,776,298	△27,241,298
その他補助金	0		0
資産運用収入	14,817,000	14,966,021	△149,021
資産売却差額	0	0	0
事業収入	29,020,000	27,011,300	2,008,700
雑収入	14,525,000	14,967,715	△442,715
帰属収入合計	1,649,539,000	1,677,020,877	△27,481,877
基本金組入額合計	△69,460,000	△73,628,488	4,168,488
消費収入の部合計	1,580,079,000	1,603,392,389	△23,313,389
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	875,729,000	858,492,868	17,236,132
教育研究経費	618,020,000	605,151,972	12,868,028
管理経費	99,869,000	85,029,746	14,839,254
借入金等利息	4,800,000	4,365,415	434,585
資産処分差額	1,640,000	1,638,832	1,168
徴収不能引当金繰入額	0	1,966,189	△1,966,189
消費支出の部合計	1,600,058,000	1,556,645,022	43,412,978
当年度消費支出超過額	19,979,000	0	
当年度消費収入超過額	0	46,747,367	
前年度繰越消費支出超過額	2,902,121,515	2,902,121,515	
翌年度繰越消費支出超過額	2,922,100,515	2,855,374,148	

# 京都西山短期大学平成26年度事業報告

## 1.平成 26 年度京都西山短期大学事業報告

平成 26 年度事業計画は次の通り策定し事業を行った。各事業計画の総括を十分にふまえ平成 27 年度事業計画へとつなげたい。

- A.経営改善計画への取り組み
- B.教学、指導改善への取り組み
- C.留学生の受け入れと教育指導の対応
- D.財政上の経営改善と教職員への処遇改善
- E.学内教育施設、環境整備への取り組み

### A.経営改善計画への取り組み

経営改善計画の課題としている定員の確保については、平成 26 年度 5 月 1 日付の学生数は 184 名(定員比 92%)であり、26 年度入試による 27 年度 5.月 1 日付の学生数は 170 名(定員比 85%)と減少した。これは 2 回生学生数の減少(国際教育コース生)によるものであり、これより 28 年度以降 90 名以上の入学生を目指し、平成 30 年度には定員を確保したい。本学としては仏教コース社会人学生と入学実績ある高校への保育幼児教育コース生の学生数増加をめざし、募集広報につとめたい。

### B.教学、指導改善への取り組み

必修科目のカリキュラム編成において平成 25 年度よりの課題であった保育幼児教育コースにおける「仏教保育」の平成 27 年度開講が決定した。「仏教保育」は仏教精神を建学の精神とする本学において保育の心と実践を実現する大切な授業科目と位置づけしており、仏教保育教学の充実を期したい。保育幼児教育コースにおける教育指導の改善については、平成 26 年度は、教員の教育内容・方法の改善、学生の授業に取り組む姿勢・意欲の向上等を測るべく 1 回生の「基礎ゼミナール」2 回生の「総合演習」において、大学で学ぶことの理解、各コースの教育目標に基づく専門教科の充実、また、十分な知識、思考力、専門的スキルも身につけることを目標にし、授業展開を実施した。その結果、保育士・幼稚園教諭の資格・免許取得を果たし、保育分野に就職を希望する学生は全員、保育所・養護施設・幼稚園等への進路先が実現した。しかしながら、進路変更等で、資格取得に至らない学生も存在した。この状況を踏まえ、資格取得向上と「社会人基礎力」(※ 1)「生きる力」(※ 2)を育むことを目標に 26 年度のカリキュラムを基に 27 年度への改善を図った。その結果、2 年次に委員会活動を取り入れ、「総合演習」の展開として「環境デザイン美化衛生委員会」「児童文化財・図書委員会」「生命育成・宗教委員会」「学習キーパー・相談委員会」の 4 委員会を設けゼミ担当の教員指導のもと、各グループの役割を認識し、学生達が各々の能力を発揮し、主体的に取り組めることを指導目的とした。これらの全てが「社会人基礎力」に繋がると考えており、保育者の子ども達を育むべき、「生きる力」①確かな学力②豊かな人間性③健康・体力にも繋がると考えている。このように「基礎ゼミナール」「総合演習」において学生達が「生きる力」を身に付け資格取得率の向上、希望就職の実績に繋がれることを期待したい。

※ 1 文部科学省の「学習指導要領」より

※ 2 経済産業省の「職場や地域社会で多用な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」より

### C.留学生の受け入れと教育指導の対応

3年目となった国際教育コースは、平成26年5月1日付80名、10月1日付62名となり、留学生に特化したカリキュラムが学生数増に結び付いたものと判断できる。ただ、卒業後の進路に対する指導の中で、経済・経営学の修学意欲が高く、本学の2年間においてもこれらを学ぶことが可能となる新コースへの改組、並びにカリキュラムを検討し、27年度国際経営コースの新設を決定した。別科(日本語専修課程)の学生数は、春・秋各学期とも45名であった。26年度は、提携各校を中心とした日本語能力・修学意欲の高い学生の入学を要請したが、日本語能力には、依然として個人差があり、日本語能力試験N1、N2レベル取得向上に向けた教育指導を引き続き行っていきたい。なお、検討課題としている秋入学生に向けた1年半の別科課程設置については、26年度は見送ることとし、秋に修了した別科生は秋学期の科目等履修生を経て、27年度本科国際経営コース春学期生として入学することとなった。

#### D.財政上の経営改善と教職員への処遇改善

26年度課題とした奨学金の削減については、現行制度を見直し、とりわけ、日本国内の入学者に対する奨学金制度を一部改訂した。また、学生定員数には算入されないものの、納付金収入では大きなウェイトを占めている別科生数は、26年度末45名の在籍に対して、27年度春は59名となった。教職員の処遇改善の対応については平成26年度の経営状況の現状より改善策を実行出来なかった。したがって、引き続き現行の給与体系表の見直し、人事評価の是非を含め本学に相応しい就業規程の改定に取り組んでいきたい。

#### E.学内教育施設、環境整備への取り組み

##### (1)校舎耐震工事への取り組み

校舎の耐震工事は実現しなければならない課題であるが現在の経営状況では借入金による対応は難しいと判断し、平成35年度よりの事業計画へと変更し、この間借入金の返済(述誠館建設費)を行い、資金積立計画に取り組みたい。

また、本館教室の改修、キャンパスの庭園整備は、27年度以降の事業計画として対応したい。

##### (2)本館事務所の改修、学生ホールの設置

26年度事業として行った事務所の改修は学生指導、事務対応の短大のフロントとして明るく機能的に改修整備することができた。また、併せて学生、教員、職員の大学人が対話交流できる場として設置した学生ホールは、目的の通り有為に活用されている。